

令和元年度第4回 感染症発生動向調査部会
議事要旨

1 日 時 令和元年7月17日(水) 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室(岐阜市柳戸1-1)

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志(岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター 副センター長)
大西 秀典(岐阜大学医学部附属病院 新生児集中治療部 准教授)
澤田 明(岐阜大学医学部附属病院 眼科 講師)
石山 俊次(石山泌尿器科皮膚科)
オブザーバー: 加藤 いづみ(岐阜市保健所地域保健課 感染症対策係長)
事 務 局 : 中澤 千怜(保健医療課 技師)
田村 直彦(保健環境研究所 疫学情報部長)
岡 隆史(保健環境研究所 主任専門研究員)
酢谷 奈津(保健環境研究所 専門研究員)

4 議 題 (進行:馬場委員)

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題、情報提供すべき事項について
- (3) 情報提供(月番委員専門分野から)
- (4) 前回の検討結果を受けた実績等
- (5) その他

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題、情報提供すべき事項について】

○政策的・公衆衛生的に診断確定が求められる疾患について

(馬場委員)

- ・感染症法の届出対象疾患が疑われた場合であっても、治療や対応が変わらないなど臨床的意義が高くなければ、診断確定がなされず届出に至らないケースが存在すると思われる。
- ・医療関係者に対して、感染症発生動向調査の目的を理解してもらうことに加え、届出対象疾患の中でも国の政策上または公衆衛生上、患者の発生を確実に把握することが特に重要である疾患を行政側から提示するなどの働きかけが必要。

○定点医療機関の見直しについて

(事務局・保健環境研究所)

・STD 定点の対象疾患については、女性患者の実態が把握しにくい状況であったが、今年度、定点を1か所変更したことにより女性患者の報告数が増加しており、改善がみられている。

(委員からの意見)

・STD 定点の泌尿器科・皮膚科・産婦人科のバランスは、国の示す目安に合っているか。

(事務局・保健環境研究所)

・大きくは外れていないため、今後も全体の報告状況をみながら必要に応じて定点変更を検討していきたい。

○社会への情報提供の方法について

(事務局・保健環境研究所)

・「ぎふ感染症かわら版」を保育所や高齢者施設など希望する施設にメール配信しているが、性感染症に関しては提供方法の検討が必要と考えている。

(事務局・保健医療課)

・手足口病の啓発に関しては、国の通知文書とともに「ぎふ感染症かわら版」を保健医療課から子育て支援課（保育所を所管）を通じ各保育所への送付を依頼した。

・同様に、梅毒など性感染症の啓発資料などは、県教育委員会を通じて中学・高校へ配布することは可能。

(委員からの意見)

・性感染症に関する市民公開講座（8月開催）などの場を利用して、参加者に配布するのも有効であると思われる。

・学校には、感染症予防は教育の一環であるとの意識を持ってもらうことも必要。

・保育所や幼稚園、学校などの施設での啓発資料の具体的な活用方法としては、掲示板に貼ってもらうことが効果的である。

○レジオネラ症について

(事務局・保健環境研究所)

・患者発生の季節性、患者の職業の傾向など、感染症発生動向調査で得られたデータを示して医療関係者に対する情報提供を考えたい。

○輸入感染症について

(馬場委員)

・医療関係者に対しては、海外からの帰国者が発熱等で受診した場合に、麻しん、風しん、季節性インフルエンザ（特に日本と流行期が異なる地域への渡航者）などにも注意が必要である旨、改めて情報提供が必要。

・一般向けには、例年「ぎふ感染症かわら版」で取り上げているが、予防接種等を含む出発前の準備の重要性、またそれにはある程度の時間が必要であることについてさらなる言及が必要。

・夏休みと年末年始だけでなく、企業向けには3～4月の年度替わりの時期も適当なタイミングと考えら

れる。

○外国出身者の感染症について

(馬場委員)

- ・麻しんや風しんのほか、結核や薬剤耐性菌の問題など、医療関係者に啓発すべき点はたくさんあるが、過剰な対応につながらないように配慮も必要であるなど情報の出し方が難しい。
- ・まずは公衆衛生上のデータに基づく現状について医療関係者向けに情報発信が必要か。

【情報提供（月番委員専門分野から）】

(馬場委員)

- ・国の薬剤耐性対策の状況、抗菌薬（後発医薬品）の不安定供給の影響について情報提供。

【前月の検討結果を受けた実績等】

○梅毒

(事務局・保健環境研究所)

- ・一般向けの情報提供として「大人のためのぎふ感染症かわら版」を今月中に発行予定。

○百日咳

(事務局・保健環境研究所)

- ・一般向けの情報提供として「ぎふ感染症かわら版」を今月中に発行予定。
- ・医療関係者向けの情報提供資料を作成中。

【保健医療課から情報提供】

(事務局・保健医療課)

- ・厚生労働省からの感染症関連通知、お知らせ等情報提供。